

※口頭扱い

市民政党「草の根」

代表 井原勝介 様

平成29年(2017年)3月27日に提出された「岩国基地の機能強化に関する公開質問状」について、下記のとおり回答します。

記

1.

F-35Bのブラケットについては、国から「米側から、不具合が生じたブラケットについて設計変更し、本年1月に岩国飛行場に配備されて10機には既に新設計のブラケットを装着済みである」旨、説明を受けています。

事故の最終報告書がまとまる時期については、市においては承知していませんが、機体の安全性に関して、国から「米側は今回の事案に関し、事案の調査及び再発防止の実施など、事故後、取り得る最大限の措置を施していると考えており、F-35Bの岩国配備に関し、安全性について特段の問題はないと考えている」旨、説明を受けています。

2.

国から「E-2Dの岩国飛行場への飛来については、E-2Cからの部隊更新により、2、3ヶ月程度、岩国飛行場に前方展開し、配備前訓練を実施した後、空母ロナルド・レーガンに搭載される」旨、説明を受けています。

3.

(1) ①・②・③・関連質問

国の回答によりご確認願います。(回答内容については国より情報提供があり、市においても承知しています。)

(2) ①

空母艦載機の移駐に対しては、市としまして、引き続き、安心・安全対策の中で騒音対策の強化を求めています。

②

国の回答によりご確認願います。

③

市としまして、現時点において、コンターの修正や再作成を求める考えはありませんが、国は「空母艦載機の移駐後、岩国飛行場の運用が安定次第、騒音調査を実施し、適切に対応したい。」としており、移駐後の実際の騒音状況を踏まえ、第1種区域の見直しがされるものと認識しています。

(3) ①

国の回答によりご確認願います。市としまして、安心安全対策の徹底については、折々に要望しています。

②

国の回答によりご確認願います。

③ア

建設経費と完成時期については、国の回答によりご確認願います。利用開始時期については、共同使用に係る手続き後になります。

イ

米軍及び岩国市の両者による管理を基本に調整を行っています。

ウ

現在、調整中と聞いています。

エ

岩国運動公園と同様の利用が可能となるよう、国及び米軍と調整を行っています。

④アイウエ

国の回答によりご確認願います。

(4) ①

安心・安全対策については、国との協議を継続しており、現時点において、43項目の各項目別に実施状況をお示しすることは控えますが、協議に区切りをつけなければならない時期が到来した際には、開催を予定している住民説明会の前にお示ししたいと考えています。

②

平成20年3月12日に、岩国市長が「米軍再編の円滑かつ着実な実施の必要性は基本的には理解し、協力すべきものと認識している」旨、表明し、これを踏まえ、同年3月21日、国が再編関連特定市町村に指定しました。

③

岩国市がお答えする立場ではありませんが、空母艦載機の移駐が抑止力の維持と地元負担の軽減という米軍再編の目的のため必要不可欠であれば、移駐計画を進めるにあたって、国は、地元の理解が得られるよう最大限の努力をするべきと思います。

④

岩国市がお答えする立場ではありませんが、国は「空母艦載機の岩国移駐のみを進めるという考えはない」旨、示されており、普天間基地の移設についても、国は、沖縄をはじめ地元の理解を得ながら進める必要があると思います。

以上

